

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	ミュージカル
----	----	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんえーしーおーおきなわ 一般社団法人エーシーオー沖縄	団体ウェブサイトURL	<a href="https://www.acookinawa.com/">https://www.acookinawa.com/</a>
代表者職・氏名	代表理事 大城安恵		
制作団体所在地	〒 902-0067 沖縄県那覇市安里388-1-3F	最寄り駅(バス停)	安里駅
電話番号	098-887-1333		
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじんえーしーおーおきなわ 一般社団法人エーシーオー沖縄	団体ウェブサイトURL	<a href="https://www.acookinawa.com/">https://www.acookinawa.com/</a>
代表者職・氏名	代表理事 大城安恵		
公演団体所在地	〒 902-0067 沖縄県那覇市安里388-1-3F	最寄り駅(バス停)	安里駅
制作団体 設立年月	平成24年11月		
制作団体組織	役職員 代表理事:大城安恵 理事:下山久 理事:大城将保 監事:半谷邦雄 会計:安里清榮(公認会計士)	団体構成員及び加入条件等 芸術監督・プロデューサー:下山久 作家:嶋津与志 俳優:田仲洋子 当銘由亮 他 制作:友利奈緒子 大城安恵 ※加入の条件: 役員の推薦により総会にて承認を得る	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	友利 奈緒子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	比嘉 千賀子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:aco-g@acookinawa.com">aco-g@acookinawa.com</a>		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>【一般社団法人エーシーオー沖縄】 多様な文化の交流をとおして社会と平和への貢献と次世代の子どもたちへ、質の高い舞台を観劇する機会を創ることを目指し 1992年「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」の企画調査でエーシーオー沖縄設立。 1994年同フェスティバルを開催。 2000年平良とみを中心とする俳優のマネージメント部門を設立。 2005年～2013年「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」を沖縄市で開催。 これまでに参加団体は613、作品数683、延べ参加者数401,997人。文化芸術に関する国際シンポジウム、セミナーも精力的に開催。国内外の芸術団体とのネットワークを築いている。 2012年アシテジ第一回世界ミーティング開催、一般社団法人エーシーオー沖縄設立。 2014年「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」を沖縄市、那覇市、東京で開催。 2015年～「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」を那覇市で開催。 創立以来沖縄発信のオリジナル作品を次々発表。国際共同制作や沖縄の芸能をとりいれた意欲的な作品づくりをおこなっている。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2020年 12月11日 大阪府、和歌山、滋賀県、奈良県、和歌山県、大阪市” R2文化庁 文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演一 2021年 2月17日 天妃小学校5年生+特別支援学級 2月18日 天妃小学校6年生、一般公演 2 2022年 R2文化庁 文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演一 10月27日 奈良県 御所私立大正小学校 10月31日 和歌山県 日高川町立寒川第一小学校 11月1日 和歌山県 和歌山市立大新小学校 11月2日 大阪府 東大阪市立玉川中学校 2023年 R2文化庁 文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演一 1月20日 大阪市 大阪市立桜宮中学校 1月23日 大阪府 岸和田市立城東小学校 1月24日 大阪府 阪南市立旭小学校 1月25日 大阪府 泉南市立新家東小学校 1月26日 和歌山県 紀美野町立美里中学校 1月27日 奈良県 御所私立御所小学校 1月30日 大阪市 大阪市立義務教育学校生野未来学園 1月31日 堺市立新金岡小学校 2024年 1月11日 沖縄県大宜味村小中学校体育館</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成30年度「沖縄燦燦」公演：山梨県立やまびこ支援学校 令和2年度「沖縄燦燦」公演：大阪府立西淀川支援学校／大阪府立光陽支援学校</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://vimeo.com/757105673">https://vimeo.com/757105673</a></p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>	<p>78333</p>	

別添	なし
----	----

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人エーシーオー沖縄】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	～燦燦と輝くいのちの輝き～ 沖縄版ミュージカル「沖縄燦燦」			
企画のねらい	<p>沖縄にはユネスコ「無形文化遺産」である組踊をはじめ歌舞伎舞踊や上方舞、京舞と並び重要無形文化財である琉球舞踊、17世紀初頭に琉球王国の宮廷楽器として正式に採用され以後沖縄の芸能の様々な音楽シーンで用いられ琉球の宝として人々に愛されている三線など、世界に誇れる芸能が息づきます。歌舞劇「沖縄燦燦」は琉球舞踊の型や所作を取り入れアレンジされたエネルギーギッシュな踊りが魅力の一つです。また、民族学者の三隅治雄が、沖縄の島々を巡り掘り起した古謡が劇中では使われ、伝統楽器である三線や島太鼓がメロディーを奏でます。</p> <p>初めて沖縄の文化芸能にふれる子どもたちにも十分に楽しめる演劇作品となっており、生まれ育った地域以外の文化に触れることは、日本文化の多様性を知ることにつながります。“違い”を知り、体験し、受け入れることは多文化共生の意識へと繋がり、平和な未来を担う力となります。</p> <p>また「沖縄燦燦」のテーマは「命どう宝」です。何気ない毎日をみなで喜び歌い、今日という1日に感謝し平和で豊かな世になりますように、という願いが込められています。この思いをぜひ多くの子どもたちと分かち合いたいと思います。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p><b>演目概要</b> 「沖縄燦燦」は、モスクワ、アヴィニオン、エジンバラ、北京、上海等、国内外で2024年までに200回以上の公演を行っています。琉球舞踊をベースにした優雅で繊細な演技と、時にダイナミックな踊り、あでやかな伝統衣装の早変わりが見るものを魅了します。バイオリン、ヴィオラ、三線、パーカッションの生演奏、島唄が、働く喜び、生きる喜びを高らかに表現します。沖縄の生活情景を七景にわたって、わかりやすいストーリー展開で子どもたちへ生きる事のすばらしさを伝えます。</p> <p><b>演目選択理由</b> 沖縄燦燦は、舞台と観客が一つになって生きる喜びを分かち合う参加型作品です。近年の紛争や戦争などのニュース、過剰なSNS社会によるストレス、AIなどのテクノロジーと人間社会の間のひずみは、目に見えない形で子どもたちの心理に大きな影響を与えつつあります。これからの時代、ますます小中高生の自殺者数増加が懸念されます。沖縄燦燦のテーマは「命どう宝」であり、エンディングでは出演者と子どもたち全員で沖縄燦燦のテーマを踊り、生きていることをみなで祝い喜びを共有します。演劇を体験することは、感動体験につながります。そして感動体験は、子どもたちの人生を歩む力を育てます。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>沖縄の八重山諸島、竹富島に伝わる「マミドーマー」という踊りを体験します。マミドーマーは、カマ・ヘラ・クワを手に持ち、農作業の様子を軽快に表現した踊りです。子どもたちは実際に小道具である、カマ・ヘラ・クワを手に持ち踊ります。ワークショップに参加した生徒たちがは「沖縄燦燦」公演中、出演者ととも1シーンとして「マミドーマー」を演じ舞台を体験します。また、本公演の前に全校生徒向けのワークショップも行い、沖縄燦燦のラストを全員で踊り、喜びを分かち合います。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	1名～30名(舞台上で共演する生徒)	
		鑑賞人数目安	300名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>&lt;演目&gt; 第一景:海人(漁師の三良ははるかかなた沖をめざし漁を始める。浜では無事を祈る加那の姿がある) 第二景:みやびら商い(三良が獲れた魚をいれたかごを浜辺へ持っていくいつものように村娘たちが元気よく迎える) 第三景:恋の島唄(夜の森の木陰。思いを伝えあう二人。女から花染めの手ぬぐいを男に渡す) 第四景:ユイマール(助け合い。村は小さく貧しいけれどみんなで手をとり助け合う) 第五景:にいびち(婚礼。三良と加那の祝いの儀式。村みんなで祝いの踊りを踊る) 第六景:豊年祭(海の向こうから豊かさをもたらす神さまがやってきた) 第七景:沖縄燦燦(この空、この海、この島とともに、私たちは生きる)</p> <p>&lt;脚本・演出・振付&gt; 脚本・演出:三隅治雄 振付:知花小百合 音楽:松元靖 照明プラン:坂本義美 舞台美術デザイン:滝善光 衣裳デザイン:阿部美千代 音響プラン:富山尚 演出助手:田中瑠美 企画・制作:下山久</p>			
		公演時間	60	分

<b>出演者</b>	比嘉大志 古謝渚 上原唯 伊集春華 宮里香澄 大城春香 演奏:くによしさちこ(バイオリン、ヴィオラ) 伊波はづき(パーカッション、島太鼓) 亀井美音(歌、三線) 計9名														
<b>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴</b> ※3名程度 ※3行程度/名	知花小百合:琉球古典芸能コンクール「舞踊部門最高賞」受賞 「島口説」で第57回沖縄タイムス芸術選賞 演劇大賞受賞 琉球舞踊朱日流師範 琉球舞踊保存会伝承者 琉球歌劇保存会伝承者 沖縄県立芸術大学音楽部琉球芸能専攻卒業  古謝渚:宮城本流鳳乃會、古謝徳子に師事。沖縄県立芸術大学卒業。 沖縄芝居の劇団「うない」所属。 琉球古典芸能コンクール最高賞(琉球舞踊)、同優秀賞(箏曲)  亀井美音、沖縄タイムス芸術選賞「三線部門」グランプリ受賞 琉球古典音楽演奏家・シンガーソングライター。 沖縄県立芸術大学卒業後、カナダ・バンクーバーに語学留学時、その後オーストラリア・メルボルンに長期滞在時に、地元の方の要望で三線教室を開く。 2012年～ソロ歌手としても活動を行なう。														
<b>本公演 従事予定者数(1公演あたり)</b> ※ドライバー等訪問する業者人数含む	<table border="1"> <tr> <td>出演者:</td> <td>9</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ:</td> <td>8</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>合計:</td> <td>17</td> <td>名</td> </tr> </table>			出演者:	9	名	スタッフ:	8	名	合計:	17	名	<b>運搬</b>	積載量: 2 t 車長: 6.6 m 台数: 1 台	
出演者:	9	名													
スタッフ:	8	名													
合計:	17	名													
<b>本公演 会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</b>	<b>前日仕込み</b>		無		<b>前日仕込み所要時間</b>		4 時間程度								
	<b>到着</b>	<b>仕込み</b>		<b>上演</b>	<b>内休憩</b>	<b>撤去</b>	<b>退出</b>								
	8:30	8:30-13:30		13:30-14:30	無	14:30-16:30	17時00分								
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。															
<b>本公演 実施可能日数目安</b> ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月		8月	9月		22日								
	10月	11月		12月	1月		1日								
	31日														
	<b>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</b>				<b>計</b>	53日									
<b>&lt;舞台規模&gt;</b> 体育館フロアに舞台を設置する。 体育館が狭い場合は、体育館を横方向に設置する場合があります。 舞台に必要な広さ 10.8m×8.5m															
															

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

<演出>

琉球王国と呼ばれた140年以上前の沖縄。村一番の頼りがいある漁師の三良(サンラー)と大人しく内気な加那(カナ)の不器用で純粋な仲を、賑やかな村の娘たちが密かに応援する姿を描く。

村は小さく貧しいけれど、みんなが恋する男女のために結い(助け合い)の力で家を建て、やがてふたりはめでたくニイビチ(結婚)。一年の収穫を祝う豊年祭り、豊穰の神の祝福を受け、村人たちの情熱がほとぼる歌と踊り。精一杯生きる毎日の中の出来事を喜び、祝い、愛を楽器演奏と踊りで表現していく。

沖縄燦燦で使われている曲は、島々に伝わる沖縄芸能の奥深さ、多彩さを掘り出して創られ、舞台は沖縄の魅力に満ち溢れている。沖縄の楽器である三線と島太鼓、洋楽器のバイオリンによる生演奏。

エネルギッシュでテンポのある踊りは、琉球舞踊をアレンジして作られ、振り付けの随所に琉球舞踊の特徴であるコネリ(手をこねるようなしぐさ)やナヨリ(なよやかな体の動き)が取り入れられている。踊り手は皆、幼少期から琉球舞踊を習っている舞踊家である。

衣装にもこだわり、早くは13世紀から起源を持つと言われる豊かな自然風土の中で生まれ、独自の染技で育まれてきた沖縄の染物「紅型(びんがた)」を取り入れている。



著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	内部保有

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人エーシーオー沖縄】

ワークショップのねらい	琉球舞踊は、自然の恵みに感謝し、厳しい状況でも決して抗わず受け入れ、自然と共生してきた人々の中で生まれた舞踊です。また、周辺諸国との交流を深め、異なる文化を受け入れ、沖縄の気候風土に合わせて独自の発展を遂げながら、現在まで継承されており、歌や踊りの型の1つ1つに自然への恵みの感謝、生きていることの喜び、相手を思いやる気持ち、おもてなしの心が反映されています。琉球舞踊を体験することで、恵みへの感謝、生きていることへの喜び、人生賛歌を体験し、心豊かな人生とは何かを学びます。また、ワークショップを仲間とともに体験することで表現力や、コミュニケーション力を育みます。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	全校生徒可能(本公演出演は1名～30名程度)
	<p>標準:95分～130分</p> <p>&lt;舞踊体験&gt;</p> <p>沖縄文化を代表する芸能である琉球舞踊は、手をこねる動きの「コネリ」、体のしなやかな動きの「ナヨリ」など、独特の動きがあるのが魅力であり、優美で静かな形式美の古典踊り、軽快なリズムで楽しく踊れる雑踊り、雑踊りをさらに膨らませ可能性を広げた創作舞踊とがある。この踊りの特徴をそれぞれ生かしたワークショップを行う。</p> <p>さらに沖縄の方言「うちなーぐち」を使い舞台の1シーンを演じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは琉球舞踊の基本動作でもあり、美しさの原点でもある手の動き「コネリ」を体験。</li> <li>・沖縄の雑踊りの曲の1つである「マミドーマ」をクワ、カマ、ヘラの小道具を使い、農村シーンをモチーフにした振付で歌って踊る。</li> <li>・本公演に共演する生徒のリハーサル。</li> </ul> <p>○ワークショップ参加生徒について</p> <p>ワークショップに参加する生徒の人数について上限はありません。</p> <p>各学校のご希望をお伺いし、決めて参ります。</p> <p>ワークショップでは、「マミドーマ」の音楽に合わせて、仲間とともに働くことや収穫の喜びを歌や踊りを通して身体全体で表現し、体験します。</p> <p>※本番に出演する生徒は30名以下です。</p>		



ワークショップ  
実施形態及び内容

- 本公演に出演する生徒について  
衣装を着て、小道具を持ちます。  
実際の役者さんと共演しますので、本公演前に30分ほどのリハーサルと、15分程度の衣装への着替えの時間を設ける必要があります。  
※練習用の音源(CDや歌詞カードなど)をご用意いたします。
- 本公演当日に、全校生徒へ5～7分程度のワークショップを行います。  
手踊りを全校生徒で踊ります。約3分程度で、とても簡単で楽しい内容です。  
公演の中で全校生徒が踊れるように舞台上の出演者がアテンドします。



<沖縄のわらべうた体験>

全校生徒による合唱体験。

劇中でも使われている「赤田首里殿内」を、手の動きをつけてみんなで合唱する。

「赤田首里殿内」は、現在的那覇市首里赤田町において、琉球王朝時代から石川家を中心に行われてきた祭礼「弥勒(みるく)うんげー」で歌われていたわらべ歌です。

旧暦8月16日に行われ、首里殿内の黄金の灯籠に灯がとまり、弥勒菩薩をお迎えする内容が歌われています。

- 本公演前に全校生徒で「赤田首里殿内」を体験する。  
(事前に歌詞を配布)



本番前に出演者と衣装を着てリハーサルを行います



その他ワークショップに  
関する特記事項等

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 一般社団法人エーシーオー沖縄】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>本作品のテーマは「生きる喜び」です。 舞台の鑑賞やワークショップの体験をとおり、仲間と一緒に感動体験を共有することにより、子どもたちの友情と連帯感や自己肯定感、想像力、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育むことを目指します。 さらに、子どもたちにとって演劇は、創造力や想像力を育む重要な機会です。単なる鑑賞機会の提供としての上演に留まらず、教育的要素を意識した事業を目指します。</p> <p>・ワークショップでは、小学生や中学生は発達段階に応じて理解力や興味が異なるため、年齢層に応じたアプローチを行います。</p> <p>・どの子どもたちも物語を容易に理解できるよう、シンプルでわかりやすい構成が大切です。「沖縄燦燦」は明快なストーリーテリングで言葉を使わないため、どの子どもも皆楽しめる内容です。さらに、視覚的な要素を活用し、カラフルな衣装やダイナミックな動きなど、視覚的に興味を引く演出を取り入れています。</p> <p>・子どもたちとのコミュニケーションを大切にします。直接的な対話を通じて、彼らの反応や感想に耳を傾けます。</p> <p>・全力で踊り、喜びと楽しさを伝えます。演劇の楽しさや感動を子どもたちに伝えるためには、演じる側がまずその魅力を心から感じている必要があります。情熱を持ったパフォーマンスは、演者の熱意を感じ取ることができ、全力で演じることで、子どもたちに深い印象を与え、演劇の素晴らしさを共有できます。</p> <p>・この取り組みが長く続けられるよう、学校側との連携や資金面での工夫を重ね、演劇を広める情熱を持ち続けます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>学校との連絡を密にとり、事前に生徒たちの状況を把握します。 具体的には、ワークショップ台本を作成し、事前に確認事項を各学校へ送ります。 本公演の下見、打ち合わせをワークショップ時に行います。 また、ワークショップの台本と一緒に本公演の舞台設営についてや、設置例の図面、生徒たちの発表の流れを記載した台本も送り、担当の先生たちと意見交換し、内容の共有を行います。 生徒たちの状況にあった、わかりやすい指導方法と公演形式をご担当の先生とともに考え準備、円滑に実施いたします。</p>
--	---